

【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2023年7月18日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部国際日本学科 (学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年5月15日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校(日本語名) California State University Long Beach(現地言語名)
現地使用言語/授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月上旬 2 学期: 1月下旬～5月上旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	38273人
創立年	1949年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル)	日本円	備考
授業料		0 円	交換留学のため
宿舍費	\$8,850	1,239,000 円	二人部屋
食費	\$3758	526,120 円	1 週間に 10 食のミールプラン
図書費	\$30	4200 円	
学用品費	\$15	2100 円	
携帯・インターネット費	\$243.83	34,136 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$3616	506,322 円	
被服費	\$50	7000 円	現地で購入した分(主に日本から送ってもらった)
医療費	\$7	980 円	
保険費		268,925 円	形態: 明治大学の保険 96,415 円と留学先の保険\$1327
渡航旅費		298,200 円	
ビザ申請費		20,000 円	
雑費	\$753	105,414 円	日用品、冬休み中の食費
その他		15,000 円	日本から送ってもらった物資の輸送費
その他		円	
合計		2,926,983 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田空港 目的地:ロサンゼルス空港 経由地:	
復路 出発地:ロサンゼルス空港 目的地:羽田空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:298,200 円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL)	
<input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Hillside International house) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
協定校からのメールの案内に従いました。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
国際交流が活発な寮だったので、人との交流が目的な人には最適な寮でした。アジアやヨーロッパからの留学生と他の文化に興味があるアメリカ人が 7:3 くらいの割合で、留学生に理解がある人ばかりなので安心感がありました。寮内のイベントも多く、カラオケ大会や週 1 の映画鑑賞会などのほかに、個人的に共同ルームでアニメを見たり卓球をしたりと思いついたら過ごせる場所です。ただアクティブな人が多い分深夜まで騒がしいことが多いので、静かでないと寝れない人には大変かもしれません。生活をサポートしてくれる RA もほかの寮に比べてフレンドリーでたくさん相談に乗ってくれました。自分が不便に思ったのはキッチンが寮から徒歩 3 分ほど離れた場所にあったことと、部屋に蜘蛛や蟻が現れることです。寮に入る人はミールプランを申し込むことが必須なので自炊をする必要はありませんでしたが、自分は一番安い一週間に 10 食のプランだったので、時々自炊のために食材や食器をもってキッチンがある建物まで往復しました。蜘蛛や蟻は International House だどこの部屋でも被害にあうようで、殺虫スプレーを買ったり頻繁にゴミ出しをしたりなど対策していました。	
設備に関しては、International House は冷房がなく、フローリングに土足なので、それが嫌な人は学期途中でも寮の移動願いを出して移って行きました。暖房は各部屋にありましたが寮生がつけることはできず、申請をして整備の人に電気をつけてもらおうと常時ついている状態になり自分では消せません。出身地の気候の違いでルームメイトには暖房が必要なかったため、暖房は常時オフにしてもらい私は電気毛布を買うことで解決しました。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所: CSULB のヘルスセンター)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等: 親、現地の友人)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

在留届をオンラインで提出すると在ロサンゼルス日本国総領事館からメールで様々な注意喚起が配信されたのでそちらをよく確認するようにしていました。犯罪情報はもちろん暴風雨などの被害が起きうる気候情報も知ることができたので良かったです。夕方以降はキャンパス外に出ない方がいい、夜のバスは危険といった情報は RA や寮のアメリカ人の友達に初日に教えてもらったので、現地に詳しい人に直接話を聞いてみるのがおすすめです。私が盗難にあったことはありませんでしたが、席を離れるときは荷物を置いていかないか、周りの人に荷物を見ているように頼んでしました。キャンパス内はあまり気を付ける必要がなかったですが、友達の中には食堂でリュックを盗まれた人や、自転車を盗まれた人がかなりいたので基本的に荷物は肌身離さないようにしました。また、キャンパス内でも銃事件が起きたことがありました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネット接続は勉強に困るほど不安定ではありませんでしたが、月に 1, 2 回程度つながりにくくなるがありました。動画などを見るのに困る程度だったので常に支障はありませんでした。キャンパス内は学生が使える Wifi があったので、外出時用に月 4G のプランに登録していました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

初めは外国でも使えるデビットカードを持って行ってそれを主に使う予定でしたが、寮費を月々払うのにクレジットカードだと手数料が毎回 40\$ 程かかってしまうと知って現地に銀行口座を開設しました。私は Chase 銀行で口座を作りましたが、留学生はビザや DS2019 といった必要書類さえ持っていけば全部銀行の方が手続きしてくれました。開設費用も最初に口座に入れる 5\$ だけで済みました。基本的に買い物は日本のクレジットカードを使いましたが、友達と割り勘するのに現金が必要だったり、日本のクレジットカードだともによってはなぜか使えなくなったりするのでアメリカの銀行口座を開設しておくのがおすすめです。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特にないです。カリフォルニア州は特に日本人が多く住んでいるため Little Tokyo のマーケットなどで日本食や日用品も買うことができます。ただし物価が全く違い、日本で売っている値段の 2 倍 3 倍するので値が張るものは日本から持っていく方が安く済みます。防寒具や筆記用具などはアメリカのものは品質が良くないので日本から持って行ったり送ってもらった方がいいと思います。あとカリフォルニア州は思っていたよりも雨がよく降るので折り畳み傘を持っていくといいと思います。アメリカ人は傘を持っていない人が多くお店でも売っていませんでしたが、冬は 1 月以降はかなり頻りに雨が降るので持って行って正解でした。

逆にシャンプーやスキンケア用品は日本から持って行って少し後悔しました。アメリカは硬水なのでとにかく髪が痛み、気候のせいもあり肌が乾燥しました。日本の軟水と多湿な気候に合わせたシャンプー・スキンケア用品はアメリカの環境では物足りず、最終的にはアメリカ人のルームメイトにお勧めしてもらったものが自分には合っていました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
HIST131 Early Western Civilization	西洋文明史
科目設置学部・研究科	HIST
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Mik Larsen
授業内容	西洋とはなにか、初期西洋文明の文献から探る授業
試験・課題など	毎回のリーディング課題、小テスト、中間・期末テスト、期末レポート
感想を自由記入	毎回の授業で課題のリーディングの背景となる文明について教授が講義し、授業時間の半分は出される問についてリーディングをもとにディスカッションしていく。古代の文献が英語に訳されたもので、難しい英語なうえに毎授業までに 10-20 ページ読まなくてはいけないためついていくのが大変だった。ディスカッションで意見を言えないことが苦しかったが、その分毎回の小テストは点数が取れるよう予習した。期末課題やテストは授業内容そのままなので難しくなく、成績は取りやすい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
R/ST101 Religion at the Movies		映画における宗教	
科目設置学部・研究科	R/ST		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	リアルタイムオンライン(講義) (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Nandini Mahtani		
授業内容	映画における宗教の役割について、インド映画をもとに探る		
試験・課題など	映画鑑賞課題、発表		
感想を自由記入	<p>すごくフレンドリーで素敵な先生だった。インド出身の先生で、留学生にも理解があり困っていることがないか親身になってくれたり、Zoom の録画を許可してくれたりと配慮してくれた。毎週末映画を見てそれについてレポートを 1 枚書く課題があったが、インド映画は 2-3 時間と長く、字幕で理解するしかないと映画が好きでもかなりハードに感じた。インドの宗教はヒンドゥー教とイスラム教が主で、仏教発祥の地でもあるため日本人にも馴染みがある概念もあり興味深かった。宗教に興味がない人にもおすすめしたい。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CWL104 Lit & Culture of Middle East		中東の文学と文化	
科目設置学部・研究科	CWL		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Pardis Minuchehr		
授業内容	中性から現代に至る中東の文化を、文学や映画から探る		
試験・課題など	ユニット毎のペーパー、中間期末試験、グループ発表、リーディング課題		
感想を自由記入	<p>先生が優しく生徒に配慮して課題を減らしてくれる人だった。とても話しやすかったため、毎授業後に質問と雑談をしにいった。中東の文化にはイスラム教が密接にかかわっているため、イスラム教の授業といった方がいいかもしれない。リーディングの量は少なく読みやすいものが多かったが、詩については全く理解できず、同じグループの人が意味を解説してくれてとても助かった。漫画ペルセポリスを通して現代のイランで何が起きたのか、女性がどのように生活して何を思ったのか、日本と同じ世界とは思えず印象深く、自分の考え方が広がった。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
REC168 Intro to Travel and Tourism		観光学	
科目設置学部・研究科	REC		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Katie Dudley		
授業内容	観光がもたらす、ビジネス、環境、社会的影響について考え、Niche な観光について考える		
試験・課題など	ユニット毎のクイズ、ディスカッション、期末レポート、中間期末試験		
感想を自由記入	ツーリズムの中でも持続可能な観光・その土地の観光資源を生かした Niche tourism について学び、特にアメリカの州ごとの特徴が面白かった。ユニット毎のクイズはオンラインコンテンツを見て答えるものでかなり簡単。観光学は日本でもなじみがあり専門的な用語も少ないため理解しやすい内容だった。そのためか履修する人は留学生が多く、ディスカッションも緊張が少なかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ART227 History of animation		アニメーションの歴史	
科目設置学部・研究科	ART		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回		
担当教授	Frank Gladstone		
授業内容	アニメーションの歴史について写真の誕生から 21 世紀に至るまでを学ぶ		
試験・課題など	期末レポート、中間期末試験		
感想を自由記入	留学中一番面白かった授業。とにかく先生が面白い人で、元ディズニーアニメーターで彼自身の目で見た歴史を語ってくれた。ユーモアがあり、毎回親父ギャグをクイズとして出していた。とても人気の授業で、Waiting list からなんとか受けることができた。スクリーンで流すアニメーションの動画に合わせて先生が制作背景や技術進歩などを解説するのでノートをとるのだが、この授業はパソコン使用不可だったため必死にノートをとった。アメリカのみならずヨーロッパや日本のアニメも取り上げていて、国際日本学部のアニメーション文化論と同じ作品も取り上げており、異なる視点で学べて面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
DNC104 Intro to Tap		タップダンス初級	
科目設置学部・研究科	DNC		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(実技)とオンライン(講義) (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Steve Zee		
授業内容	タップダンスの初歩的なステップと歴史を学ぶ		
試験・課題など	実技テスト、音楽クイズ、中間期末試験、リーディング課題		
感想を自由記入	先生がフレンドリーでとても楽しかった。ダンスが初めてという学生が多く、学部生以外が多く受けている印象だった。週に1回の実技授業とオンラインでの歴史の授業があり、毎週のリーディング課題はかなり量が多い上に現地の学生も読みにくいと言ったような内容で大変だった。タップダンスはジャズと関連していてアメリカのエンターテインメントの歴史を学んでいるようで興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
FEA205 Film Hisotry		映画史	
科目設置学部・研究科	FEA		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回		
担当教授	Miguel Paracios		
授業内容	映像技術の起源から現代に至るまでの映画史を学ぶ		
試験・課題など	リーディング課題、映画鑑賞、ディスカッション、中間期末試験、期末レポート		
感想を自由記入	どうしても受けたかった授業だったがかなり単調で、取り扱われる映画も教授次第のように感じた。人気な授業なので複数授業が開講されていて、かなり内容は異なる。同時期に履修していたアニメーション史やタップダンスの授業と内容が被るところがあったが、アメリカのみならずヨーロッパ各国やアジア、アフリカなど様々な地域の映画をみて、地域ごとに映画の雰囲気や表現技法が全く異なるのが興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
MUS468 Film and Music		映画と音楽	
科目設置学部・研究科	MUS		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Roger Hickman		
授業内容	映画における音楽の役割について学ぶ		
試験・課題など	テキストのリーディング、8回分のクイズとレポートとディスカッション、期末試験、期末レポート		
感想を自由記入	内容がとても面白く他学部生に人気の授業。先生が出席を取らず、クイズやレポートの提出期限もないため多くの人が欠席したり課題をため込んだりしていた。異なる楽器による演出効果や無音の役割など、音楽の前提知識がなくてもフィーリングで理解しやすかった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	出願
	4月～7月	寮の申し込み、予防接種、授業選択、ビザ取得、航空券購入、予防接種、
	8月～9月	出国、授業の最終決定
	10月～12月	中間試験、期末試験、冬休み
留学/帰国年	1月～3月	春学期開始、授業選択、中間試験
	4月～7月	期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

ロングビーチを選んだのは映画関連の授業が豊富だということが大きな理由でした。もともと留学に対する憧れは小さかったのですが、大学生でなければできないことに挑戦し、自分を成長させたいという思いから留学を決めました。より得られることが多いと思って映画学を学びたいという思いが強かったですが、勉強以外に得られたものは大きく、言葉の壁や自分の不出来さに苦しみながらも人間として成長できたと思っています。

留学は最初の準備の段階でつまづくことが多いと思いますが、それに関しては頼ったもの勝ちです。知らないのは当たり前だと思って留学アドバイザーやすでに留学した先輩、同じ留学先の人などに頼ってなんでも聞くことをお勧めします。この段階が留学の良し悪しを決めるといっても過言ではないので、万全に準備しましょう。

私がアメリカで知って驚いたことですが、予防接種はモノによってはアメリカでも受けられます。私は日本で打ったのでかなり値段がかかりましたが、友達はアメリカに来てから保険を使って無料で受けていました。寮に入るのに接種証明を提出する必要がありますが、案外チェックが緩いので入寮してから提出しても問題ありませんでした。

留学して初めて家族から離れ、第二言語の場所で一人で生活することで成長できると思っていましたが、実際は一人で生活することはできず、空港に着いた瞬間から人に頼っていました。アメリカでできた友達や日本から一緒に来た先輩、日本にいる友達や家族の全員に助けられて辛いことも乗り越え、人は一人じゃ生きていけないということを強く実感しました。

留学中に一番焦った瞬間は、空港に着いてから通販で買ったSIMカードが不良品だったときでした。ほかの先輩と一緒に行動していたためどうにかはなりましたが、この初日の経験があったから留学中どんな目にあっても「初日に比べたらどうってことない」と思うことができました。これからの人生もそれと同じで、この先苦しく辛い思いをしたとしても、留学中にあった苦しいこと楽しいこと全部思い出して、力をもらいたいと思います。

不安になるようなことがあってもなるようになります！一歩飛び出して自分の財産になるような経験をしてくださいね。